

### 本市の学力向上への取組について聞きたい

#### 学校での学びと家庭の協力との両輪で取り組んでいく

**増山あすか 議員(市政)** 子どもたちが基礎知識を習得することは、将来の進路・人生にとって重要である。そこで、本市の学力向上への取組は、



▲小学校における少人数授業の様子  
豪雨対策の進捗について

**教育長** 分かりやすい授業を実現し、義務教育9年間で基礎知識の確実な定着を図るほか、タブレット端末等のICT環境の活用により、個別最適な学びを充実させる。併せて、家庭学習の習慣化に向け、市立学校の全家庭に啓発リーフレットを配布するなど、学校での学びと家庭の協力との両輪で取り組んでいく。

### 女子野球人口の増加に伴う市民球場のトイレ等改修については

#### 市民球場のトイレ等の必要な改修の検討を進めている

**秋山としゆき 議員(市政)** 第2次府中市スポーツ推進計画は、策定に際してSDGsの視点を取り入れている。このうちジェンダー平等の観点から、女性アスリートのスポーツ環境整備が課題であると思うが、一例として女子野球人口の増加に伴う市民球場のトイレ等改修について、市の考えは。また、屋外スポーツ施設等の実態調査の必要性は。  
**文化スポーツ部長** 同計画案においては、市民の誰もがスポーツに親しめるよう施設・

### 自宅療養支援室を設置し、医療相談窓口の開設などを行うことは可能か

#### 自宅療養者支援の実施の中で個別の支援につなげていきたい

**結城亮 議員(市民)** 都から新型コロナウイルスに感染した自宅療養者の情報が開示されるが、今後の市の対応は。  
**福祉保健部長** 市において自宅療養者の把握が可能となるため、都と連携を密にし、療養生活に寄り添った相談対応や、安心して療養できる環境づくりに引き続き取り組む。  
**議員** 国立市では、自宅療養支援室を設置した実績があると聞くが、本市でも、そのような支援室を設置し、地域の医療機関につなぐ医療相談窓

### 避難所等までの案内表示の設置を望む声もあるが市の取組は

#### 電柱約120本に避難所までの案内表示板を設置した

**遠田宗雄 議員(公明)** 東日本大震災発災時、鉄道が止まり帰宅困難者が生じたほか、遮断機が下りたままの踏切が大渋滞の原因となった。そこで、鉄道事業者の当時の、踏切への対応について聞きたい。  
**都市整備部長** 鉄道事業者によると、長時間遮断機が下りたままの踏切が存在したことは認識しているが、対応については不明とのことである。  
**議員** 帰宅困難者には、主要幹線道路や鉄道線路沿道を利用する方が多く、避難所等までの案内表示の設置を望む声もあるが、市の取組は。  
**行政管理部長** 避難所・避難時サインの整備の一環として、主要幹線道路等に近接する12か所の避難施設から600メートル以内の電柱約120本に、避難所までの案内表示板を設置した。なお、表示板には避難所までの距離や方向をイラストで示し、平易な日本語と英語の表記を加えた。  
**他** 府中市の災害対策として流域治水の取組強化を



▲災害時のスムーズな避難のために

### 痴漢に対する対策や啓発に関し、鉄道事業者と連携を強化してはどうか

#### 協力依頼があった際には適切に対応していく

**竹内祐子 議員(共産)** 各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数で見ると、日本は他の先進国から遅れている状況にある。そのような中、ジェンダーギャップの解消に向けた独自の取組を進めている自治体があると聞くが、本市でも庁内の意識調査



▲デートDVの意識啓発講座

などは実施されているか。  
**市民協働推進部長** 第6次府中市男女共同参画計画においては、ジェンダーギャップ指数の結果を踏まえた「あらゆる分野における男女共同参画」を掲げており、今後、取組を進める中で、意識調査の実施も検討する。  
**議員** ジェンダーを取り巻く課題の一つに、性犯罪や性被害があるが、痴漢に対する対策や啓発に関し、鉄道事業者と連携を強化してはどうか。  
**市民協働推進部長** 鉄道事業

### 酸素・医療提供ステーションを必要とする方に対する市の役割は

#### 保健所や医師会と連携を図り早期対応が行えるよう努める

**そなえ 邦彦 議員(自由)** 新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、都や保健所等と連携を図り、体制整備を行う必要があると考える。  
そこで、酸素・医療提供ステーションの現在の設置状況などについて聞きたい。  
**福祉保健部長** 酸素・医療提供ステーションは、令和3年9月、味の素スタジアム内に臨時の医療施設として都が開設したものであり、現在は第6波に備え、医師や看護師が常駐して健康観察を行うこと

### 市立保育所における医療的ケア児受け入れの検討状況は

#### 入所要件などを整理したガイドラインを策定し受け入れの早期実現に努める

**高津みどり 議員(公明)** 今後、障がい児保育の充実はさらに重要になると考える。そこで、本市における障がい児保育の取組と課題を聞きたい。  
**市長** 本市では、社会全体で障がい児を包摂するとの理念のもと、昭和59年度から市立保育所での障がい児保育を実施してきた。課題としては対象児童の増加や、転園・就学後における支援の一貫性の担保が挙げられ、今後開設予定の児童発達支援センターにおいて支援機能を確立する中で、包括的・継続的に障がい児を支える体制を構築していく。  
**議員** 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律では、医療的ケア児への適切な支援の責務が明記されたが、市立保育所での医療的ケア児受け入れの検討状況は。  
**子ども家庭部長** 法施行前から検討しており、今後は先進事例等も参考に、入所要件や医療的ケアの内容などを整理したガイドラインを策定し、受け入れの早期実現に努める。  
**他** 自主防災活動への支援充実を